2014年
Global Compact支持・支援活動と４分野「10原則」への取り組み

フルハシEPO株式会社
FULUHASHI EPO CORPORATION

期間：2014年2月～2015年1月

～ EPOは、地球の生態系、環境を表す「Eco・Environment」と港を表す「Port」から名づけました ～

2014年 Global Compact支持・支援活動と4分野「10原則」への取り組み

＜トップメッセージ＞

　フルハシＥＰＯは『環境』を主軸に、Global Compact(GC)の活動「4分野10原則」を持続的に支持・支援し、CSR(企業の社会的責任)活動」を積極的に行います。

当社は、GCの4つの分野**「人権・労働・環境・腐敗防止」**を目指した**CSR活動のため、3つのCSR基本方針『社会とともに』『環境とともに』『社員とともに』**を掲げます。フルハシグループ企業行動憲章のもと、法令・倫理規範を遵守し、フルハシEPO行動指針のもと、安全性と品質を追求するとともに経営の効率化、透明性を常に意識し、お客様・お取引先・社員・地域社会・株主を含む全てのステークホルダー（利害関係者）に対して付加価値のある経営を行うことで社会的責任を果たします。

4分野10原則の遵守された世界を目指し、未来の子供たちが安心して暮らすことのできる持続可能な社会の発展に寄与します。

代表取締役社長　山口　直彦

＜人権原則＞
原則１：企業はその影響の及ぶ範囲内で国際的に宣言されている人権擁護を支持し、尊重する。
原則２：人権侵害に加担しない。

《当社の方針》
・人権尊重（フルハシグループ企業行動憲章）
　あらゆる企業活動の場面において人権を尊重し、差別的取扱い、児童労働、強制労働を認めません。
・行動規範：基本的人権の尊重、人種、信条、性別、年齢、社会的身分、門地、民族、宗教または障害の有無等の理由による差別や個人の尊厳を傷つける行為の禁止。
・「お取引先との公正・透明な取引」
　　（ＣＳＲ活動：基本方針『社会とともに』）
・「人権擁護を支持する人事」

《取り組み・活動》
１）フルハシグループ企業行動憲章、行動規範の周知。
２）人権に関する意識向上のため、従業員へ行動指針カードの配布携帯の指示。
３）朝礼で、行動指針カードの唱和。
４）ＣＳＲ活動：基本方針を明記したリーフレットの配布。
５）新入社員研修時にGC４分野原則についての講習の実施。
６）管理職研修で人権教育の実施・報告。
７）人権を支持、尊重する人事方針。
８）ボランティア活動の推進。

《成果・評価測定》
１）定期的なアンケートによる従業員の人権擁護意識の調査。
２）研修・教育の実施報告書の作成。

＜労働原則＞
原則３：組合結成の自由と団体交渉の権利を実効あるものにする。
原則４：あらゆる形態の強制労働を排除する。
原則５：児童労働を実効的に廃止する。
原則６：雇用と職業に関する差別を撤廃する。

《当社の方針》
・人権尊重（フルハシグループ企業行動憲章）
　あらゆる企業活動の場面において人権を尊重し、差別的取扱い、児童労働、強制労働を認めません。
・従業員の尊重（フルハシグループ企業行動憲章）
　従業員一人ひとりの個性を尊重します。また、能力を十分に発揮でき、活き活きと働ける環境を実現します。
・「社員一人ひとりの多様性を尊重し、働き甲斐をもって自己実現に向かう人材育成」、「ワーク・ライフ・バランスに配慮し、働きやすい職場環境づくり」（ＣＳＲ活動：基本方針『社員とともに』）
・「従業員の安全と健康を確保するための人事プログラム」

《取り組み・活動》
１）従業員の意識向上のため行動指針カードの配布、携帯の指示。
２）ワークライフバランス実現のため、育児休業・介護休業制度、短時間労働、福利厚生制度の充実。
３）「女性能力活用プロジェクト」の発足。
４）オアシス運動（より良い職場環境づくり活動）の促進。
５）雇用平等、労働の多様性の促進（積極的な障害者雇用への対策）。
６）管理職前研修で、雇用教育の実施、報告。

＜労働原則＞
《成果・評価測定》
1）オアシス運動（働きやすい明るい職場活動）に対する評価（社内表彰制度）。
2）雇用の多様性についての外部アンケート実施・報告。（育児時短勤務、障害者・高齢者雇用など）
3）雇用の多様化に対する研修報告。
4）「女性能力活用プロジェクト」会議報告。

＜環境原則＞
原則７：環境問題の予防的なアプローチを支持する。
原則８：環境に関して一層の責任を担うためのイニシアチブをとる。
原則９：環境にやさしい技術の開発と普及を促進する。

《当社の環境方針》

・「環境理念」トップ提言
（ＨＰへ掲載　http://www.fuluhashi.co.jp/fe_ee.html　）
「私たちは、地球環境と子どもたちが安心して暮らす未来のために資源の有効利用、リサイクル、グリーンな資源・エネルギーによって持続可能な社会いの実現を目指します。」　代表取締役　山口直彦

・「環境方針」各工場・営業所への掲示
フルハシEPOは事業の遂行にあたり、よりクリーンな経営・生産活動を目指す取り組みの基本方針として以下を定めます。社員への周知徹底に努め、公開できるようにしています。

1. 事業活動、製品及びサービスが環境に与える影響を的確に捉え、技術的・経済に可能な範囲で環境目的・目標を定め、見直しを行い、環境マネジメントシステム及びパフォーマンスの継続的向上を図ります。
   ・木質バイオマスの重要性を認識し、積極的な活用を推進します。
   ・全ての部門で、ムリ・ムダ・ムラを削減、省資源・低エネルギーを推進し、業務の合理化を図ります。
   ・従業員が健康に働ける職場環境を整えるとともに、環境教育の機会を提供し、一人ひとりが環境への意識を向上し、環境保全活動を進めて行きます。
   ・環境情報の開示や発信を通して、ステークホルダーとの信頼関係を築きます。
   ・食の安全保障、再生可能エネルギーの創出、生物多様性の保全、資源の活用、地産地消に努め、持続可能な社会づくりのために必要な活動を展開します。
2. 法規制の順守はもとより、自らの責任において高い目標を設定し、その実現に努めていきます。
3. 環境への汚染をゼロに近づけるため、いっそうの環境保全に取り組みます。

この方針を達成するために、「環境安全委員会」を組織し、全員参加で環境活動を推進します。

・地球環境保全への貢献（フルハシグループ企業行動憲章）
地球環境への負荷を低減し、持続可能な社会づくりに貢献します。

FULUHASHI EPO

＜環境原則＞

《取り組み・活動》

１）従業員の環境意識向上のため行動指針カードの配布、携帯の指示。
２）環境・安全委員会による環境経営管理システムの構築。
３）エコアクション２１取得。
４）あいちCO2排出量削減マニフェスト2020登録。（2012年12月）
５）従業員ボランティアによる森林保全活動。
６）県民グリーン運動。(4工場で緑化推進活動を実施)
７）環境保護製品の開発。

《環境にやさしい技術の開発と普及を促進する事業活動》

１）再生可能エネルギーの活用
・木質バイオマス発電所の合弁事業参加
～植林から再生可能エネルギーまで～
２）建物の建築・解体現場から出る廃棄物の分別・回収
（エアコンのフロン回収も実施）
３）間伐材の循環的有効活用
・間伐作業による資源の有効活用と森林整備の促進
・間伐材を利用したパレット「森林再生パレット」の製造・販売（従来のプラスチックパレットよりCO2排出量を９７％削減）
・補修による長期使用（King of REUSE）
・使用済みのパレットを回収し、木質バイオマス燃料へリサイクル

川崎バイオマス発電所
木質チップ供給工場

http://www.kawasaki-biomass.jp/

林地残材･間伐材の出材･有効活用

＜環境原則＞

《成果・評価測定》

１）「あいちCO2排出量削減マニフェスト」活動進捗等、外部(官公庁等)への活動実績報告。

２）「エコアクション21」における「環境活動レポート」の作成報告。

３）環境安全委員会における定期的な実績報告。

４）環境保全活動のステークホルダー等への報告「環境への約束」。
http://www.fuluhashi.co.jp/fe_ee.html

＜腐敗防止原則＞
原則１０：強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗を防止するために取り組む。

《当社の方針》
・校正な企業活動（フルハシグループ企業行動憲章）
　公正、透明、自由な競争を行います。また、政治、行政との健全かつ正常な関係を保ちます。
・腐敗防止原則の遵守「お取引先との公正・透明な取引」
　　（ＣＳＲ活動：基本方針『社会とともに』）

《取り組み・活動》
１）CSR活動:基本方針を明記したリーフレットの配布。
２）腐敗、強要行為にたいする社内監査の実施。
３）腐敗防止に関する社内研修の実施。
４）営業研修において、腐敗防止教育の実施。
５）正しい経費処理についての社員研修の実施。

《成果・評価測定》
１）社内監査による調査報告。
２）経費調査・会計監査による報告。
３）研修報告書の作成。

参考資料１：フルハシグループ企業行動憲章

フルハシグループは、健全な事業活動をとおして収益性を高め、活力ある発展と社会への還元を図ります。

そのためには、関係法令の遵守はもちろんのこと、良き企業市民として社会的責任を果たし、お客さま、株主・投資家の皆さま、取引先、地域社会、従業員をはじめとした関係者からの信頼を得て、企業価値を高めることが必要だと認識しています。

一、お客さまの満足

有用で信頼性の高い商品やサービスを、安全に十分配慮して開発、提供し、お客さまの満足と信頼を獲得します。

一、新しい技術への挑戦

創造的な技術開発に挑戦し、新事業領域の開拓を行い、豊かな未来に貢献

一、公正な企業活動

公正、透明、自由な競争を行います。また、政治、行政、との健全かつ正常な関係を保ちます。

一、情報発信

正確で十分な企業情報をわかりやすく適時かつ適正に発信し、企業活動の透明性を高めます。

一、地球環境保全への貢献

地球間への負荷を低減し、持続可能な社会づくりに貢献します。

一、地域社会との調和

国や地域の文化・慣習を尊重し、その発展に貢献する経営を行います。

一、社会貢献活動

社会の一員であることを深く自覚し、良き企業市民として積極的に社会貢献活動を行います。

一、人権尊重

あらゆる企業活動の場面において人権を尊重し、差別的取扱い、児童労働、強制労働を認めません。

参考資料１：フルハシグループ企業行動憲章

一、従業員の尊重

従業員一人ひとりの個性を尊重します。また、能力を十分に発揮でき、活き活きと働ける環境を実現します。

一、知的資産・個人情報の管理

知的資産や個人情報の価値を認識し、適正な管理を実行します。

以上

参考資料２：ＣＳＲ活動

グローバルコンパクトの４つの分野**「人権・労働・環境・腐敗防止」**を目指したCSR活動のため、３つの基本方針
『社会とともに』『環境とともに』『社員とともに』を掲げています。
法令・倫理規範を遵守し、安全性と品質を追求するとともに経営の効率化、透明性を常に意識し、お客様・お取引先・社員・地域社会・株主を含む全てのステークホルダー（利害関係者）に対してメリットある経営を行うことで社会的責任を果たします。

『社会とともに』・・・お客様、お取引様、地域の方々など社会の様々な方とコミュニケーションを取り、お客様の立場に立って、誠実に製品やサービスをお届けします。お取引先との相互発展・成長のため、ビジネスパートナーとして公正・透明な取引を行います。また、地域社会の一員として積極的に社会貢献活動を展開します。

『環境とともに』・・・地球環境の保全と再生を取り組むべき重要な経営課題と捉え、事業における環境負荷提言活動に主体的に取り組み、資源の有効活用によりサステナブルな社会づくりにベストを尽くします。

『社員とともに』・・・社員一人ひとりの多様性を尊重し、働きがいをもって自己実現に向かう人材育成を目指します。ワークバランスに配慮し、働きやすい職場環境づくりを進めます。

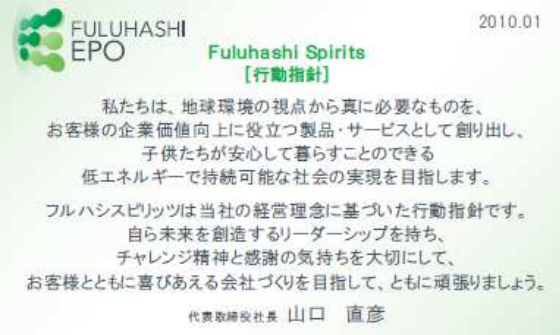
参考資料３：行動指針「フルハシスピリッツ」

グローバルコンパクトの４つの分野「人権・労働・環境・腐敗防止」、およびCSR活動のへの従業員意識向上のため、「行動指針カード」を配布・携帯を指示しています。

『行動指針』

・世の中にとって必要か？
・正しいか？
・環境にやさしいか？

１．新しい可能性にチャレンジし、持続可能な社会を実現します。
２．お客様の立場に立って考え、ニーズに応えます。
３．プラス発想と行動力で付加価値を高めます。
４．知性・技術・感性を育て、使命感を持って仕事に取り組みます。
５．豊かなこころでユーモアを忘れずに仕事を楽しみます。


FULUHASHI EPO

2010.01

Fuluhashi Spirits
[行動指針]

私たちは、地球環境の視点から真に必要なものを、
お客様の企業価値向上に役立つ製品・サービスとして創り出し、
子供たちが安心して暮らすことのできる
低エネルギーで持続可能な社会の実現を目指します。

フルハシスピリッツは当社の経営理念に基づいた行動指針です。
自ら未来を創造するリーダーシップを持ち、
チャレンジ精神と感謝の気持ちを大切にして、
お客様とともに喜びあえる会社づくりを目指して、ともに頑張りましょう。

代表取締役社長 山口　直彦

FULUHASHI EPO

参考資料４：「あいち女性の活躍促進宣言」

女性の活躍促進宣言

2015 年 1 月 28 日

会社又は団体名　フルハシ EPO 株式会社
代表者氏名　代表取締役　山口　直彦

「あいち女性の活躍促進行動宣言」の趣旨を踏まえ、女性の活躍促進に向けて取り組んでまいります。

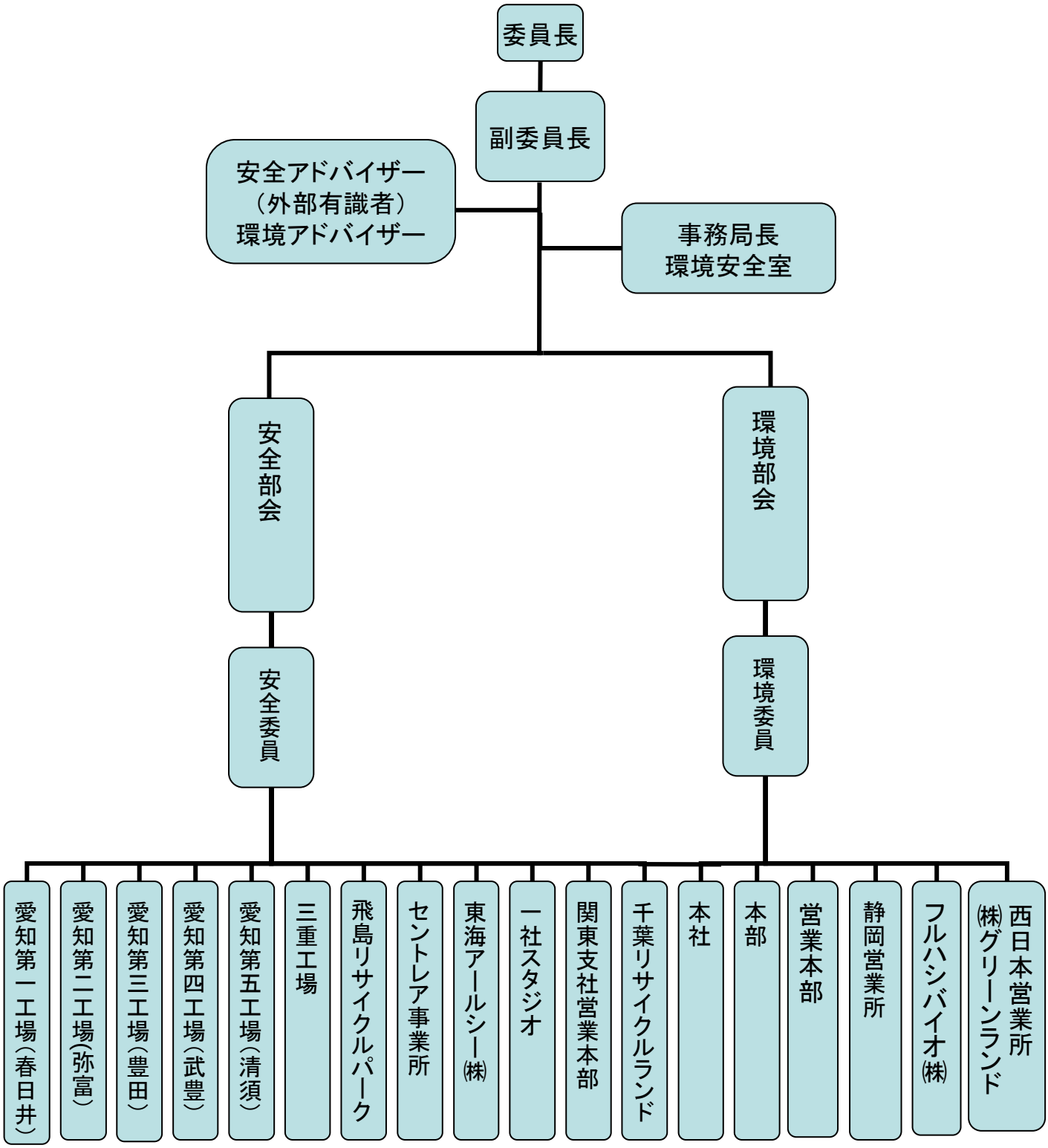
女性の活躍促進に向けた組織トップからのメッセージや今後の取組内容など、それぞれの企業・団体の実情に応じてご自由にご記載下さい。

弊社は社員のワーク・ライフ・バランスを推進し、今後より一層女性が活躍できるよう企業風土の改善と意欲向上に努めます。

・女性の活躍支援について、社内の意識改革に努めます。
・働き方のダイバーシティに対応できるよう体制を整備します。
・女性能力活用のため、女性社員の意識向上と管理職の養成を図ります。

「女性が元気に働き続けられる愛知」の実現を目指す
http://www.pref.aichi.jp/0000076193.html

参考資料５：環境経営管理システム
環境安全委員会構成図：2014年5月1日



参考資料６：環境安全委員会活動

「環境、品質、安全、衛生」の４つに重点を置いて活動をし、
実績の横串展開に努めています。
職場の「人権、労働」の公平さを維持するための安全確保とリスク管理、地球温暖化防止のために社内外における環境保全活動を推進しています。
また、活動内容は、毎月委員会にて報告・管理され、年１回環境安全大会にて成果のレビューをしています。
＜主な活動＞
・環境保全・省エネ活動を推進。
・職場の安全衛生の確認・改善活動。
・環境安全大会による活動の見える化。
・BCPトレーニング。

＜委員会･発表会･訓練･花いっぱい環境活動の様子＞

25.02.2014

24.03.2014

14.05.2014

07.10.2014

14.01.2015

参考資料７：あいちＣＯ２排出量削減マニフェスト2020

愛知県では「あいち地球温暖化防止戦略2020」を策定したことに伴い、県内の事業者が2020年に向け、自主性や創意工夫を活かしたマニフェスト（宣言）の作成を推進しています。県はそれを認証・登録し公表することにより、参加者事業者の環境活動を広く社会にＰＲできるよう、他事業者や他の地域への展開を期待する「あいちCO2排出量削減マニフェスト2020」制度に取り組んでいます。

事業所活動

●環境安全（防災）委員会を設置し、着実な環境経営を推進
●各種設備・機器の管理標準を厳守し、「ムリ・ムダ・ムラの削減」「省資源・低ネルギー化」を推進し、業務の合理化を実施
●空調機器の設定温度を適切に管理実施
●スーパー・クールビズ及びウォームビズ実施
●給湯機器について、適切な起動時間・停止時間および温度設定を実施
●照明の点灯区画の限定等による不要な点灯を削減実施
●破砕機ハンマーの新開発による効率化を実施
●OA機器の効率化の実施
●木質バイオマス発電設備［中型］の導入
●全工場にデマンド・コントローラー導入、電力管理の実施
●エコドライブ運動による燃費向上を実施

低炭素な製品・サービス

●グリーン購入（環境配慮型製品・サービス）の実施
●グリーン・ジャパン・プロジェクト ： ［ 植林からエネルギー ］
　木質バイオマス発電所［大型］による再生可能エネルギー創出
●グリーン・ジャパン・プロジェクト ： ［ 植林からエネルギー ］
　森林再生事業による間伐推進、未利用間伐材の地産地消の実施
●ブルー・オーシャン・プロジェクト ： ［ 海洋バイオマスの創出 ］
　海洋バイオマスの資源化技術開発を実施
●オレンジ・サン・プロジェクト ： ［ 食の安全保障 ］
　生物多様性に配慮した有機農業を実施
●木質バイオマスのマテリアル・リサイクル選別を徹底

従業員教育、社会貢献

●「環境・安全・防災 」月間活動を設置し、全従業員で取り組む
●木質バイオマスの重要性を広く普及させるため、木育活動を実施
●産官学連携により、「都市の木質化 （木製品の普及） 」を推進

〈活動・成果報告〉

当社マニフェストの内容は当社ならびに愛知県のホームページに掲載され、目標達成のための活動を環境安全委員会を中心に行っています。
活動結果を愛知県へ報告しております。

参考資料８：エコアクション２１認証取得

エコアクション２１はISO14001の体制や手引きの規定に加え、環境パフォーマンス評価、環境報告書の規定を統合した、PDCAを基本とした効率的で実行性のあるマネジメントシステムです。

【認証取得】

2012年12月　営業本部 取得

2012年12月　愛知第二工場（弥富）　取得

2013年12月　三重工場

2013年12月　飛島リサイクルパーク

持続可能な社会を構築するためには、あらゆる主体が積極的に環境へ取り組みを実施することが必要である現在、これまで以上に一人ひとりが業務の中で、省エネルギーや資源リサイクル等、環境活動を主体的に意識し、行動していくことが必要と考えています。

＜参考：取得メリット＞

①環境経営の証

②コスト削減（要求事項遵守による業務改善）

③経営の効率化（PDCAに基づく環境経営）

④産業廃棄物処理業者として優良事業者の要件

⑤グリーン入札・入札参加資格

⑥条例による「事前協議」の免除

エコアクション21

認証登録番号 0008997

参考資料９：社会貢献活動（2014年一例）

2014年3月：環境教育

2014年5月・6月：ボランティア清掃活動

2014年7月：ペットボトルキャップ・缶プルトップ回収

2013年9月：海岸漂着ゴミ清掃活動（環境教育）